

2019年度の優先目標
2018年度は、各チームの責任および権限を強化し、研究所における研究を明治大学の教育に還元する方法を模索した。取り組むべき課題としては、運営に関わる少数人への負担肥大化と発着、『国際武器移転史』編集に関わる若手への負担肥大化と発着、PDCA等の基本的事項に関する認識共有の不足、メンバーのオーナーシップ・コミットメント不足、経営二重申請等の手続ミス、重箱関連プロジェクトの外部依存、総合的な持続可能性へのリスクなどが認識された。2019年度は、これらの課題に取り組むことを可能にするよう、以下計画表にも若干の修正を加えた。とりわけ、左欄列に★マークを入れた課題対応項目については、特段の意識を持って取り組む。

2019年度 国際武器移転史研究所計画表 兼 進捗状況確認表

※進捗確認およびレビューの際に左記の色を使用
未達 大幅 遅延 計画

Table with columns for 2019年度 (4-12, 1-3), 年度末レビュー (状況説明, 内部要因, 外部要因), and 2020年度に向けて (改善・向上のためのアクション・プラン). Rows include management, planning, research, and team activities.

